

淀川区  
広報誌

# よどマガ!

～つながる・ひろがる・ひびきあう～

3月号

平成30年  
(2018年)

No.047

今月の



は、

## 写真の可能性を求めて

ブルームギャラリー 新北野地域

よ〜く見ると



写真が!!

今月の  
みどころ



淀川区マスコット  
キャラクター  
の  
夢ちゃん

- 東淀ごみ焼却工場見学会 4面
- 大阪市の平成30年度予算案 8面
- 淀川区の平成30年度予算案 15面
- 平成30年度 各種検診のお知らせ 特集面

「Portrait of a Woman」 Collage,  
Photographs, Gatorfoam, Φ120cm, 2017  
© Akira Otsubo

2025年万博 大阪・関西へ

OSAKA-KANSAI  
JAPAN  
EXPO2025

World Expo 2025  
Candidate

詳しくは「おおさか掲示板」へ



# 写真の可能性を求めて



①個人が所有する写真から歴史を1ページずつ紡いでいく。②淀川区内の魅力を見つけるべく、カメラを持ち出し区内を巡る。③写真の魅力を感じてもらえるよう創意工夫を繰り返す。

## その1枚の写真に光を当ててみませんか?

「写真って何でしょうね?」と聞くと窪山洋子さんは少し考えてから「街や人々の営みの記録を残すと同時に、見る側の経験や記憶のドアをトントンと叩いてくれるもの…」と答えてくれた。

淀川区で写真ギャラリー「ブルームギャラリー」を営む窪山さんがそう感じたきっかけは、2011年に発生した東日本大震災だった。数多の尊い命とその地に宿った思い出を一瞬で奪い去る濁流に衝撃を受けながらも、何も行動に移せていない自分に無力さを感じ、自問自答を繰り返したという。

「私に何ができるだろう?写真に、写真ギャラリーに何ができるだろう?」と。

震災直後に社会人大学院で都市経済を学び始め、次第に地域と写真とのつながりに興味を抱きはじめた。ある時、東北の地

で主をなくした泥まみれの写真を洗浄する機会があり、失われた風景と思い出が再び映し出されていくことに感動を覚えた。

個人が撮った何気ない1枚の風景が歴史の1ページになっていく。切り取られた風景を重ねることでその地の歴史をより鮮明に紡いでいけることに気付いた。自分が、そして写真ができることがぼんやりと見えたという。

そう、地域の人々が撮った何気ない1枚の写真に光を当て直し、そこに映ったかつての風景を地域の人々と紐解くことでその地の歴史が紡がれていく。

「写真が持つ色々な魅力を多くの人に知ってもらいたい」。窪山さんはそんな写真ギャラリーの未来を想い描きながら、今日も写真の可能性と向き合っていく。



▲ギャラリーでは作品や用品の販売だけでなく、皆さまの大切な写真が未永くメッセージを発せられるお手伝いをします。写真を飾るためのアイデアや、大切な写真の保存方法などについてもお気軽にご相談ください。

## ブルームギャラリー

BLOOM GALLERY

営業日/水～土曜日 営業時間/11:00～19:00

※その他の曜日・時間帯は予約制

住所/淀川区新北野1-11-23ハイム北野B103

☎6829-6937

専用駐車場はございませんので車でお越しの方は近くのパーキングをご利用ください。



掲載している写真はブルームギャラリーからご提供いただきました。



写真で残す淀川区の風景



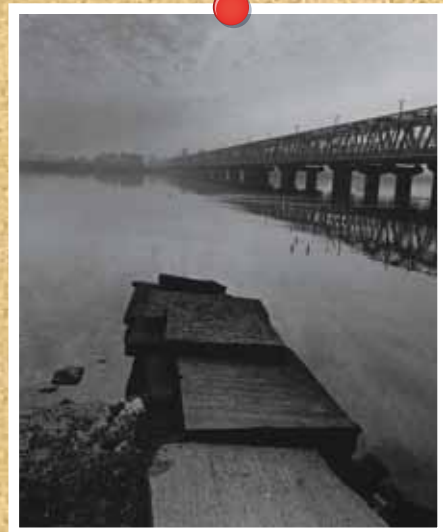
©BLOOM GALLERY



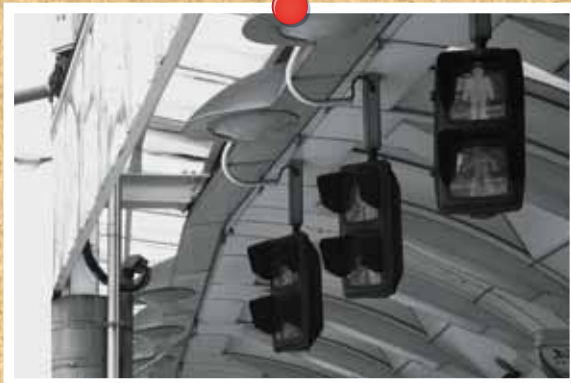
©Yuiko Kobuchi



©Manabu Yamamoto



©Tadahiko Oishi



©Yuiko Kobuchi



©Manabu Yamamoto

淀川区の歴史を紡ぐお手伝いをします

興味があることは、地域の人と協力しながら、皆さまがお持ちの写真を集め、地域の共有財産として未来に残していくこと。そんな活動ができないかなと思っています。ギャラリーは元々色々な人が集まり交流する場。どうしても敷居が高いと思われがちですが、全然怖くありません(笑)。今後は地域の方々にも気軽に参加してもらえるようなワークショップやイベントも計画中ですので、気軽にお越しください。

ブルーム ギャラリー 代表 窪山洋子さん



3月の展覧会情報

へんぐち よしのり  
辺口芳典「山田家」展覧会  
“Another family landscape YMDK”

開催期間：3/21～3/31  
3/21(水)16:00より  
オープニング・イベント

イベント等の詳細はホームページにて。